

農場長より

本年度は公開文化祭『耶麻農高祭』が行われ、多くの保護者をはじめ、地域の方々にもたくさんご来校頂きました。あらためて感謝申し上げます。

農場の一年間を振り返ると、農業クラブ等で生徒の活躍が大変目立った年であったと思います。3年生が卒業した後も新年度の各種大会では、今年に引き続き優秀な成績を残せるよう、農場全体が活気ある指導で生徒へはいろいろな面での喚起をしていきたいと準備をしている次第です。

農場生産計画でも計画を上回る生産額で終了することができました。各部門とも年間を通してきめ細かな栽培管理・飼養管理の大切さを実習の中で生徒に教えることができたのではないかと思います。また、販売実習でのふれあいや喜多方市や山都町でのイベントに参加するなかで、地域にとけ込み本校を理解してもらええる機会ができたことは、大変良いことであったと思われ農場部としては今後も継続していきたいと考えています。

作物部門

課題研究において、3年生は《サツマイモの生育に関する研究》について発表しました。ふだん見ている・ふだん食べているものですが、新たな観点から作物が見えてきたように思います。夏の暑さの中、畑を覆い尽くすようなサツマイモの急激な成長、そして個性豊かな品種別でのいもの違い、さらに、いろいろと調理をして試食しました。

また、2年生は、《イネの植付本数別の生育調査に関する研究》について発表しました。稲の植え付け本数は、1本でも10本でも収穫の量を比べるとほとんど変わりません。調査・研究することによって見えてきました。赤米や紫稲などふだん栽培しない稲作りにも挑戦しました。

次に、全生徒で行った『全校田植え』など、年間を通じて広大な千咲農場を力を合わせて管理した結果、無事収穫を迎えることができました。大変、実りの多い年でありました。

しかし、今後取り組まなければならない課題もいくつか見られました。1・2年生には、このような課題を含めいろいろな研究に取り組めるよう指導していきたいと思われ。



畜産部門

さる、2月8日に2年生の専攻生でメスの子牛を出荷しました。今回の子牛は発育が良かったため、目標を50万円以上と定めてセリに臨みました。市場での評価も高く、メス牛の中でも繁殖素牛として血統・発育ともに良好なものだけに与えられる『指定保留牛』となり、ますます期待が上がりました。しかし、この日のセリは値段が上がらず目標額も危ういとは思われましたが、57万5千円の値がつかれました。購入された方は二本松市の繁殖農家で、良い子牛をたくさん生産して欲しいものです。

次に、プロジェクト学習は、1月25日に校内研究発表大会があり、3年生が発表した《『耶麻農牛』のブランド化を目指して～本県産と九州産の増体の違いについて～》が最優秀賞となりました。また2年生が発表した《子牛の生育調査を試みて》も優秀賞となりました。



野菜部門

今年度の野菜部門は、天候にとっても恵まれたためどの野菜もよく生育してくれました。収穫してから、山都町内を始め会津坂下町内や喜多方市内において販売実習を行うことができました。皆さんのおかげで生徒の販売実習も充実した内容になりました。

現在は、畑には大量の雪があり、ハウス内は全ての野菜で収穫が終わったため寂しい状態ですが、来年度に向けて着々と準備を進めて参ります。来年度も今年以上に、「安全・安心な野菜」を心がけて実習を行いますのでよろしくお祈りします。また、5月中旬から下旬には家庭栽培用の野菜苗の販売も行いますので、購入をご希望される保護者の皆様は、生徒を通して注文頂くか学校までご連絡下さい。



草花部門

本校の草花部門は、花壇用の草花類(パンジー・マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ペゴニアセンパフローレンス)と鉢もの類(球根ペゴニア・カンナ・グロキシニア・キク・ミニシクラメン・シクラメン・プリムラ類・シネリア・カルセオリアなど)の栽培を中心に取り組んでいます。

モットーは、《安全・安価で高品質の草花を地域に提供する!》その判定は、生徒が販売実習に出て消費者の皆様へ愛されることです。それは、販売実習を終えて黄色い手がごを振りながら帰ってくる生徒の姿にあります。

卒業を祝うかのように、本校温室は写真のようにプリムラ類・シネリア・カルセオリア・ペゴニアセンパフローレンス・パンジーが咲き乱れております。本校の卒業式を皮切りに喜多方市内の小・中学校の卒業式も彩ることになります。



農業クラブより

さる、1月25日に『校内研究発表大会』がありました。これは、授業の科目『課題研究』で、2・3年生が作物・畜産・草花・野菜の4部門を専攻し、研究テーマに沿って1年間調査・研究したデータをパソコンでまとめたものを発表する場です。また、1年生は科目『農業科学基礎』でまとめたものの中から、代表を1題選んで発表に臨みました。

発表には、2年生4題・3年生4題、それに1年生1題の計9題の発表があり、結果は、以下の通りとなりました。

なお、最優秀賞となった3年生畜産班の発表は、来年度、会津農林高校で行われる県学校農業クラブ主催の意見・研究発表県大会へ本校代表として出場することになります。



| | 研究テーマ | 発表者 |
|------|--|---------------|
| 最優秀賞 | 『耶麻農牛』のブランド化を目指して ～本県産と九州産の増体の違いについて～ | 3-1 遠藤 拓也 他4名 |
| 優秀賞 | 子牛の生育調査を試みて | 2-1 渡部 美和 他2名 |
| 優秀賞 | ダイズの生育調査 | 1-1 大月 秀樹 他2名 |
| 優秀賞 | 海洋深層水が野菜の生育に及ぼす影響について | 3-1 清水 広志 他3名 |
| 優秀賞 | イネの植え付け本数別の生育調査に関する研究 | 2-1 古川 友貴 他2名 |